

会 議 録

1 会議名

令和3年度第2回八千浦区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

・令和3年度地域活動支援事業（追加募集）について（公開）

①提案者による提案説明、質疑応答

②委員協議・採決

3 開催日時

令和3年8月4日（水）午後6時30分から午後7時44分

4 開催場所

八千浦交流館はまぐみ 多目的室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 仲田紀夫（会長）、大島 進（副会長）、伊倉幹夫、笠原 武、
笠原幸博、坂詰喜範、羽深栄一、平野和夫、柳澤 篤、渡辺孝三郎、
渡邊修一（欠席者1名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：中村センター長、小川係長、千田主任

8 発言の内容

【中村センター長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【仲田会長】

・挨拶

・会議録の確認：羽深委員、平野委員に依頼

議題【協議事項】令和3年度地域活動支援事業（追加募集）について、提案状況及
本日の審査の進め方について事務局へ説明を求める。

【千田主任】

- ・資料No.1「令和3年度 八千浦区 地域活動支援事業（追加募集）提案書受付一覧」
に基づき説明
- ・本日の進め方について説明

【仲田会長】

では、これより提案団体から説明を受ける。

最初に「No.1 文化、創作を通じた地域活性化交流促進事業」について、提案者へ補
足説明を求める。

【提案No.1 文化、創作を通じた地域活性化交流促進事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【仲田会長】

提案者の説明に対し、質問等を求める。

【坂詰委員】

令和元年度にパネルを買ったときは、スポーツハウスはまぐみを利用したと思う。今
回、保管倉庫を買わなければいけなくなった経緯を教えてください。

【提案No.1 文化、創作を通じた地域活性化交流促進事業提案者】

先般のものはスポーツハウスはまぐみには入っていない。今までのものを含め自主防
災倉庫に入っている。

【坂詰委員】

今回購入する倉庫は、なぜ必要かと聞いている。

【提案No.1 文化、創作を通じた地域活性化交流促進事業提案者】

置く場所がないからである。

【坂詰委員】

はまぐみの施設は使えないのか。

【提案No.1 文化、創作を通じた地域活性化交流促進事業提案者】

収容能力から駄目と言われた。

【坂詰委員】

私も携わっているが、まだ詰めれば可能かと思う。

【提案No.1 文化、創作を通じた地域活性化交流促進事業提案者】

2年前に購入した30数枚もここにはない。中学校にある倉庫に入っている。

【羽深委員】

2点伺いたい。

1点目、事業の概要でやちほ文化展や地域サークルの作品と記載されているが、やちほ文化展のほかに購入したパネル、机等を使用するイベントは何があるのか。

【提案No.1 文化、創作を通じた地域活性化交流促進事業提案者】

やちほ文化展以外の展示はまだ計画していない。令和元年度の実績だが、7団体で出品者数121あった。これらの作品数を展示するためには、持ち合わせでは足りないのでカルチャーセンター等から借用した。近年は、時期的に競合してしまい、都合がつかないことがあり、それを確保するための準備に不要な日数を要している。

【羽深委員】

2点目は、整備するものの内訳に作品展示パネル40枚とあるが、やちほ文化展の展示に必要なパネル枚数の全体の割合としてはどのぐらいになるのか。

【提案No.1 文化、創作を通じた地域活性化交流促進事業提案者】

必要枚数については、昨年の出品数を展示するために必要な数が77枚であった。そのうち保有しているのが37枚であり、40枚が必要だということである。他区から借りるにしてもイベントで競合することもある。特に11月の文化の日前後は一緒になる可能性も多い。時期をずらせばいいのかといえ、その1週間前になると小学生の収穫祭、サツマイモの収穫が間に合うのかという問題がある。反対に遅らせれば、展示する盆栽も時期が遅れてしまうと、花が散ったり実が散ったりということで、非常にタイムリーではない。もう一つは、収穫が早めのものや、サツキの時期など見ごろの時期に展示をするのにも活用できるのではないかと考えている。

【羽深委員】

私も、10数年前にやちほ文化展に携わっていたことがあったが、その頃は盛大だなと思っていた。何年ぶりかで、去年拝見させていただいたが、昔と比べると非常に閑散としたイメージがあった。先ほど、やちほ文化展以外にも自分の作品を出したいという方がたくさんいるという話があったが、それであれば、やちほ文化展に沢山出してもらっても良いのではないかと。だんだん作品が少なくなって、やちほ文化展以外にやっても、出品者がいるのかと危惧する。やちほ文化展だけだと、1年に1回使うためだけに、こ

こまで準備する必要があるのかという印象がある。

【坂詰委員】

事業内容の中に、作品がたくさん集まってパネルが足りないという説明だが、小・中学校の作品を新たに設ける必要があるのか。現状でも、中学校にお願いして絵を出してもらっている経緯を聞いている。小・中学校の先生と協議済みとなっているが、作品数が多くてパネルが足りないから購入したいと言っておきながら、小・中学校にも作品を出してくれというのはどうなのか。それであれば、小・中学校は学校の文化祭で展示すれば良いのではないかと。学校にお願いしなくても良いのではないかと。

【提案No.1 文化、創作を通じた地域活性化交流促進事業提案者】

小・中学校の先生とも話をしたが、学校の文化祭でも、昔みたいに展覧の部分はなかなか無い。

【坂詰委員】

小・中学校では文化祭を実施しているわけだから、そこで展示を行えば良いのではないかと。やちほ文化展で作品がたくさん出てきてパネルが足りないから購入して欲しいというならば、小・中学生の展示を追加しなくても良いのではないかと。

【提案No.1 文化、創作を通じた地域活性化交流促進事業提案者】

提案は、去年までの足りない部分を補充するという形である。去年借りた部分を、今年借りなくて良いように整備するということである。

【仲田会長】

他に質疑を求めるがないため、終了とする。

— 提案者退室 —

次に、「No.2 八千浦地区安全・安心な地域づくり事業」について、提案者へ補足説明を求める。

【提案No.2 八千浦地区安全・安心な地域づくり事業提案者】

・提案書に基づき補足説明

【仲田会長】

提案者の説明に対し、質問等を求める。

【平野委員】

提案書を見ると一部の町内会への支援という感じがする。八千浦地区の支援と考えるとかげ離れているような気がする。八千浦地区全体の支援についてはどう考えているの

か。

【提案No.2 八千浦地区安全・安心な地域づくり事業提案者】

各町内で防犯灯のLED化を進めているのに、地域活動支援事業に提案していいのかという議論もあったが、最終的に特に問題ないということで、地域活動支援事業でやることにした。担当課から「課題あり」と所見があったが、課題として、35m以上離れていない所が1か所ある。防犯灯を設置する際に既存防犯灯との間が35m離れていないと許可は出るが、電気料金をどこが払うかが問題になってくる。それは、担当者とも話をしたが確認・検討中である。

【仲田会長】

他にどうか。

事業目的及び効果の中に、県道大潟・上越線の防犯灯の設置LED化を行いと書いてあるが、図面を見ると県道大潟・上越線は、ほとんどLED化になっていないがこれはどういうことか。

【提案No.2 八千浦地区安全・安心な地域づくり事業提案者】

来年度に回したいということである。

【仲田会長】

他に質疑を求めるがないため、終了とする。

— 提案者退室 —

以上で、提案者によるヒアリングを終了とし、これから委員協議に入る。

提案額が配分額以内なので、1件ずつ協議し、採決をしていきたいと思う。

最初に「No.1 文化、創作を通じた地域活性化交流促進事業」について質疑を求める。

【坂詰委員】

やちほ文化展に第1回から携わっている柳澤委員がいらっしゃるので、確認だが先ほど羽深委員が言われたように、実際パネルを購入しなくてはならないほど作品は出品されているのか。

【柳澤委員】

やちほ文化展を11年開催しているが、上越市で600人入る規模の展示会はこれだけである。先ほど少し議論があったが、小・中学校も途中から参加したが、参加したおかげで父兄が見に来るので、確実に参加者も作品点数も伸びている。

パネルは77枚でもぎりぎりくらいである。足りない分を去年は、分担して、板倉区

と大潟区の総合事務所に借りに行っている。遠くに取りに行くのが大変だという話も聞いている。

【平野委員】

77枚という枚数は、去年足らなくてもっと借りたということか。借りたものを合わせて77枚か。

【柳澤委員】

借りたものを合わせてである。

【平野委員】

今回は借りてきていた分を、自前で確保しようということか。

【柳澤委員】

そうである。

【羽深委員】

先ほどの話と重複するが、この地域活動支援事業は今年度ということだと思う。今年度こういう計画があるので、その分を補助して欲しいというのが大前提だと思う。

先ほどの補足説明で、やちほ文化展以外に今のところ計画はないという話だったので、年1回位になるのではないか。何か計画があって、使用する回数が多く、借りてくるのが大変なので購入したいという計画あれば、私は賛成したいと思う。

【坂詰委員】

令和元年に買ったパネルの保管場所も、ここではないのか。

【柳澤委員】

当初は、体育館のギャラリー下に置いていた。ところが、そこから運搬するのに体育館を使っていると出せないで日数がかかる。また、返す時も体育館を使っていると翌日になってしまう。そんなことが何年も続いたので、中学校の横の倉庫を借りて、そこに持っていった。不便なことが何年か続いたという状況があった。

【仲田会長】

目的及び効果の中で、明るい町づくり協議会が行う地域活性化として、この地域活動支援事業を利用し、パネルを整備して作品展示を行い、交流活性化を図りたいとある。先ほどの説明で、7団体が作品を展示して手狭になっているとあるが、その中に、趣味講座等もある。昨年の実績を見ると、公民館の趣味講座の作品が結構ある。それは公民館が、作品展示を明るい町づくり協議会にお願いしているのか。その辺が疑問である。

今年度から新しい試みの小・中学校児童生徒による個々の作品に対するプレゼンテーションの実施は、小・中学校の文化祭がなくなるということか。明るい町づくり協議会として連携することなのか。

委員協議の中で、採択に向けて意見交換をやっているのだから、そこを踏まえて、最終的な方向性を出していきたいと思う。採択に向けて、採決を行うかどうかも含めて意見を求める。

【坂詰委員】

小・中学校の作品を展示してもらって良いし、それを飾るために必要であれば私も賛成である。この事業は毎年新しい作品が出てきて、出品するのを楽しみにしている人たちもたくさんいると思うし、地域の活性化につながっていると思っている。事業としてはとても良いことである。しかし、1年に1回のためであれば、今あるパネルでできる範囲でできないか。もし、出品数が多いのであれば、小・中学校の作品を遠慮してもらったらどうか。個々で出す分には良いと思うが、小・中学校にわざわざ依頼しなくても良いのではないかという意味合いで先ほど質問した。どうしても子どもたちの作品を飾るためにパネルを使うのであれば控えても良いのではないか。他に色々なやり方があると思う。例えば、倉庫を買ってまでも1年に1回のためにパネルを用意しなくてはいけぬのか。この地域活動支援事業で、今年わざわざ200万円もかけて、買わないといけぬ緊急性があるのか疑問を感じる。

事業として賛成したいが、今まで借りてきて、やれていた事業を全部そろえないと実施できない事業なのかと疑問がある。

【伊倉委員】

借りてくれば良いが、各地域でも使うところが増えてきて、いつも借りられるとは限らない。もし半分にすると今の会場は、半分展示できないということになると思う。私は購入することに賛成である。

【笠原武委員】

昨年、板倉区まで車2台で借りにいった。確か、カルチャーセンターに予約して、借りることになっていたが、借りられなくなり板倉区まで借りに行かざるをえなくなった。令和元年度に整備した倉庫とパネルは、八千浦中学校の防災倉庫の横に倉庫を設置して納めてある。今どの程度埋まって、空きがどの程度あるのか。それによっても、倉庫を買う必要があるか、パネルを全部買わなくてはいけぬのかがわかるが、それが提案書

には出ていない。その点を確認してみる必要がある。また、実質的にパネルが40枚足りない。カルチャーセンター或いは板倉区から借りることも可能だと思うが、それは、役員の方々が確認して動いている。借りることができないのであれば、買う必要もあると思う。その辺の確認が何もされていないと思う。

【仲田会長】

もう少し事業内容を精査していただかないと、ここで結論を出して、採択をするのは私の立場から厳しいと感じる。この地域活動支援事業を利用して地域の活性化と交流に寄与するというので、今、皆さんからいろいろ意見が出された。この議論の中では、採決に至るまでいっていないと感じる。

【大島副会長】

皆さんの意見を聞いていると、すんなりといかない内容ではないかと思う。坂詰委員から話があったが、小・中学校の件は、小・中学校内で展示を行い、やちほ文化展がある時に持ってきてもらうという協働の考え方もあると思う。すんなりと採択とすることは難しいので、もう1度案を練っていただいて、今日の皆さんの意見を事務局から提案者にもう一度伝えてもらうのが良いと思う。

【仲田会長】

採決にするには、中身的にはきついという感覚を受ける。副会長が言われたように、今日出た意見や疑問点がいくつかあるので提案者に再度きちんと説明をいただく機会を設けることは可能か。

【中村センター長】

会長、副会長が言われたように、今回のこの提案を一旦保留という形にして、例えば、地域協議会の方から、提案者に対して質問書を提出し、それに対して、回答を聞きながら、かつ回答の中で、新たな収支計画なり事業提案書の修正ということで提出してもらうことは可能かと思う。

【仲田会長】

事務局から、整理があったが、提案No.1については、今まで出た意見を検討して、提案者から変更提案をいただくほうが、せつかく地域活性化のために提案をされている事業であるし、提案No.2との関連もあるので、一旦保留ということで提案者に対する質問事項について、会長・副会長・事務局で協議をして、提案者に質問をする。質問内容については、皆さんに明らかにしていくという取り扱いで良いか。

(賛成の声)

次に、「No.2 八千浦地区安全・安心な地域づくり事業」について質疑を求める。

【坂詰委員】

9月以降つるべ落としのように夕方5時半から6時には暗くなるし、去年、通学道路が整備されたと言いながらも一緒に帰る子どもたちの関係上、どうしても県道を通る子がたくさんいる。そうした場合、365日の安全性を考えたら、LEDで明るくて少しでも事故とか防犯に繋がったら良いという思いが強くて、365日安心・安全で住民が暮らせるような整備を優先したほうが良いのではないかという思いがある。

【仲田会長】

先ほど平野委員から、八千浦地区全体の支援になっていないのではないかという意見も出されているが、それを踏まえて意見を求める。

【大島副会長】

私は坂詰委員に同感である。明るくて、子どもたちもそうだが、高齢者も多くて県道を使っている姿を見かけるので、ぜひ進めていただきたい。八千浦区全体を整備した場合の予算を知りたい。来年、次のところやるというお話をされていたが、八千浦区全体を整備するとどうなるか予算を知った上で、話を進めていけば良いと思う。

【伊倉委員】

LED化が終わっている町内もあるので、八千浦区全体というのはおかしい。今、防犯がないわけではない。LEDほど明るくないが古いものはある。八千浦区全体の予算というのは必要ないと思う。

【仲田会長】

この提案は、現在の蛍光灯をLED化するという事業だと理解している。ただ図面を見ると、新設するというのがあって、その新設分について、平野委員が言われた部分が少し該当するのかなと思うが、今回70万円については、事業内容を見るとLED切り替えが17灯、新設が1灯である。今まで、それぞれ市の補助事業等を受けて、県道も含めてLED化してきた部分がある。県道大潟上越線については、黒井から荒浜は、ほとんどLED化されていない。しかも、道路も狭いこともあって、今回、LED化を検討してきたという経過があるので、それを踏まえて意見を求める。

【柳澤委員】

少し補足する。市でLED化を進めている事業がある。5年位前から始まっていて、

各町内で進めている。西ヶ窪浜、夷浜、遊光寺浜、南原が1灯残っている。上荒浜は終わっている。県道は、まだLED化されているものが少ないと感じている。

【仲田会長】

ここ数年、通学路は、新設も含めてほとんどLED化してきた経過がある。これは、地域活動支援事業を使ってやってきた。今回は、県道のLED化を図りたいということであった。先ほど、県道大潟上越線の防犯灯の設置・LED化については、来年度という話があったが、地域活動支援事業の補助金は単年度事業のものである。それを踏まえて、皆さんからご意見を伺いたい。

【伊倉委員】

県道部分のLED化をした場合、おそらく多額の費用がかかるのではないかと思います。

【仲田会長】

事業費についての話があったが、先ほど提案No.1については保留ということで、もう1度それぞれ質問について回答を得た上で変更も有り得るので、提案No.2の事業について、採択をするかどうか意見を求める。

【中村センター長】

事務局から改めて整理させていただく。ここで採択すると71万8,000円で額が確定するので、増額することは不可能になる。もし事業推進することを地域協議会で前提とするのであれば、保留の手続きとなるかと思う。

【仲田会長】

提案No.1が保留で金額変更が有り得るということで、提案No.2も保留にして再度中身を精査した上で、変更提案をいただくという理解で良いか。変更提案をいただくという事務局からの整理があった。提案No.2についても保留で良いか。

(賛成の声)

再度確認だが、提案No.1、提案No.2について、皆さんの意見を踏まえて双方の事業について保留とし、再度提案者から精査をいただいて、改めて皆さんにお諮りをするという取り扱いにしたいと思う。

事務局に今後について説明を求める。

【千田主任】

今日の協議会の皆さんの意見を会長、副会長と事務局でまとめ、提案者に質問し、その回答を受けて、提案の修正を行っていただき、地域協議会で採択審査を行うという形

をとりたいと思う。9月の上旬に採択審査を行えばと思う。

【仲田会長】

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

【千田主任】

- ・1次募集で採択された八千浦地区スポーツ振興支援事業に対する附帯意見への回答について報告
- ・1次募集で採択された八千浦地区活性化・青少年育成事業「第12回八千浦地区海まつり」事業の延期について報告

【仲田会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。